

# 第1章 町づくりの課題

今後の町づくりにあたって、求められている課題を政策分野別に整理すると、次のとおりです。

## ①恵まれた自然環境の保全と町土の計画的な利用

本町は、美しい田園地帯に平地林が点在するほか、東部に白鳥の飛来する多々良沼があるなど、豊かな自然環境に恵まれた町です。こうした貴重な「水と緑の空間」を大切に守り次の世代に残していくことが、町にとって、そしてひいては国土の環境保全や地球環境問題の解決への一助となる大切な課題です。また、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭など身近に起こりうる環境問題をなくし、住民が健康的に暮らせるように適切な環境保護をおこなうことが重要な課題です。

都市的な土地利用と農業的土地利用の調和、町の核の形成、住宅地の環境改善と計画的な拡大、商業立地や工場立地の推進といった様々な観点から、町土を計画的に利用していく視点、より望ましい姿につくりかえていく視点も不可欠です。厳格で柔軟性のある規制・誘導施策を推進するとともに、各種の市街地整備事業\* を検討・実施していく必要があります。

## ②都市基盤の充実

理想的な土地利用を実現するためには、それを支える都市基盤が必要となります。地域の活性化、防災、福祉の向上など各種の行政課題を解決するために、適切な都市基盤の存在が不可欠となります。

具体的には、道路、鉄道、公園・緑地、河川など、住民の生活や産業を支える各種の基盤施設を適切に維持・管理するとともに、充実に努めていくことが課題となります。住宅地の拡大がおこなわれるような場合には、それに見合った都市基盤の整備がおこなわれることが前提となります。

また、高度情報化社会の進行により、情報・通信・エネルギーといった分野の重要性が高まってきており、それらの機能の強化も重要な課題です。

## ③生活環境の改善

住民の生活を、健康で文化的なものとする観点から、また安全性を高めていく観点から、様々な施策の推進が必要となります。近年は、住民の生活水準向上へのニーズ(=需要)に関しての高度化・多様化がみられるため、それらに対応するための新しい取り組みが不可欠となります。

具体的には住宅水準の向上、適切な宅地の供給、良質な景観の形成、上水道・下水道・排水路の整備、環境衛生の確保とリサイクルの推進、消防・救急体制の充実、防犯対策、防災町づくり、消費生活、住民相談の支援といった様々な分野で、各々の抱える課題に的確・迅速に対応する施策の推進が必要となります。

## ④地域福祉の充実

地域福祉は、地方行政にとって最大で最重要な政策課題の一つです。本町においても少子・高齢化の傾向が顕著であり、将来人口の推計値をみても老年人口\* の増加と生産年齢人口\* の減少という結果が出ており、支援を必要とする人たちに対する福祉行政の重要性は、今後さらに増すものと考えられます。

医療・保健・健康づくりのための施策推進、持続可能な社会保障制度づくりに努めるとともに、高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉・ひとり親福祉といった各種の福祉施策を充実させていくことが必要です。その際には、分野横断的な視点からの総合的な地域福祉の推進が重要になります。また、単なる児童福祉にとどまらない、包括的な少子化対策の推進が重要な課題です。

### ⑤教育と文化の振興

教育は、「百年の大計」といわれるように、将来の町や我が国のあり方に大きな影響を与える重要な行政分野です。

次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援する「学校教育の充実」、住民誰もがいつまでも生きがいを感じつつ学習を続けることができるような「生涯学習機会の提供」「社会教育の推進」など、教育に関わる施策の推進は今後も極めて重要な課題となります。

また、町の個性を育み、活性化につながる文化面での取り組みが重要です。町内の文化財の適切な保全・保護に努めるとともに、住民の芸術活動や文化活動を支援し、さらには新しい「おうち文化」の創造につながるような施策に取り組んでいくことが必要です。

### ⑥産業の振興と就業機会の創出

本町の産業は、農業を中心としつつ、近年の工業団地開発により製造業の力を高めてきました。しかし、近年における産業の多様化の速度は増す一方であり、本町における産業もその変化に的確に対応していかなければなりません。

そのため、既存の産業の活性化にさらに努めるとともに商業・業務機能の充実などに努め、町内に就業の場を創り出していくことが大きな課題となります。また、新しい産業の創出や在宅ビジネスの促進などを検討する必要があります。

しかし、個別の産業の抱える課題に対応するのみでは効果に限界があります。住環境の整備による定住人口の確保や町の魅力の向上、より積極的な情報発信による吸引力の強化など、多くの分野での総合的な取り組みによって、相乗効果の発揮を図ることが重要な課題となると考えられます。

### ⑦いきいきとした地域社会の形成

近年は希薄化しつつあるといわれますが、本町には、大都市に比較して互いに助けあう温かみのある地域社会が残っています。この温かみのある地域社会を単位とした「行政区制度」を基本に、地域での様々な活動を活性化して、いきいきとしたコミュニティ（＝地域社会）を創造・再生していくことが課題となります。

また同時に、地域間の交流、他都市との交流、外国との交流などをあわせて進めることで、「開かれたコミュニティ」をつくることも課題となります。

### ⑧的確な行財政運営と住民参加の推進

①～⑦に示した各種の政策分野における施策の推進にあたっては、その前提として、行政運営・財政運営の適正な遂行と進行管理、社会に即応した改革が課題となります。

また、各種の施策立案や事業の推進にあたって、住民の参加をこれまで以上に促進していくとともに、協働による町づくりが重要な課題です。